

## 11/27(土)「一緒に学ぼう、在宅看取りの第一歩」 が東北ブロックで開催されました！



東北ブロックは奥羽山脈に分断され、11名の協議会メンバーはあちこちに点在しています。

今回のZoom配信は東北ブロックの最北端、なんと青森で実施。

青森には協議会メンバーと参加者合わせて26名が集結！

各地からZoomミーティングで58名、事例発表＆ファシリテーターの訪問看護認定看護師8名を加えて  
総勢92名がオンライン上で在宅看取りを考え、情報とその想いを共有することができました。

3つの事例発表&質疑応答を繰返し、後半グループに分かれて感想や意見、そして

「今後どういったことに取り組んでいきたいか？」についてを話し合う場面では  
東北中の異なったネイティブスピーク（方言）が飛び交い、涙あり笑いあり…で  
あったかい空気に包まれて、参加者全員で学びを深めることができました。

不慣れな配信で少しご迷惑をおかけしましたが、東北人の粘り強く、暖かく見守る参加者に支えられ、  
たくさんの好フィードバックをいただき「開催してほんとに良かったなあ」とスゴイ達成感です！

なによりも今回、看護教員さんとその学生11名が参加して下さったことです。

「教科書ではわからない実際が知ることができ勉強になりました」

「医療資源が乏しくても、独居であっても最期まで家で過ごせることがわかりました」

「学生に看取りがイメージできるようにもっと伝えていきたいです」

などといったうれしい発表が続き、みなさんご参加ありがとうございました！

チョットでもいいからみなさんの未来を描くことができたかな？

描いた未来に向かって、一歩ずつ歩いてくださいネ〜♪

お姉さんたちは陰ながら、こころから応援していますヨ！

チーム東北ブロックのみなさ〜ん、お疲れさまでした！





## 参加者の声

### 訪問看護経験1年目で看取りの経験がない方からー

- ・在宅看取りを身近に感じられるようになった。
- ・病院よりもご本人やご家族の意向を尊重した最期を準備できそうです。
- ・様々な事例が勉強になりました。

### 看取りの経験のある訪問看護師からー

- ・多職種との話し合いをもっと充実させようと思いました。
- ・他事業所の取組を聞く機会がないので大変勉強になった。
- ・限られた資源の中でも意思を尊重し、寄り添うことで実現できる看取りもあると学べました。
- ・周りの方々も同じように困ったり悩んだりしていることが分かった。

### 看護学生さんからー

- ・その場面に真摯に関わり、ご本人やご家族の希望を叶えるお手伝いの出来る看護師になりたいと思いました。
- ・将来的には訪問看護師になりたいと考えているので、様々な方のお話を聞くことができ、貴重な体験ができました。ありがとうございました。

### 看護教員からー

- ・学生に看取りがイメージできるようにもっと伝えていきたいです。
- ・このような現場・教育機関、地域を超えた交流を今後も続けていただきたいです。
- ・退院支援の重要性を伝えたいと思います。本人等の意思を十分に確認し、多職種カンファ&連携をはかること、何よりも在宅移行期の支援が重要だと教えた。

などなど、たくさんのご意見をいただきました。





2021年度日本財団支援事業  
在宅看取りを実践できる訪問看護師の育成事業

# 一緒に学ぼう、 在宅看取りの第一歩

## 2021.11.27(土)

13:30~16:00 (受付13:00~)



- 主催：一般社団法人日本訪問看護認定看護師協議会
- 対象：新入~5年目の訪問看護師 東北地区（在宅ケアや看取りに関心のある看護職も可）
- 開催方法：オンライン研修（Zoomミーティングを使用）

定員100名（先着順）  
参加費無料

### 《事例発表》

#### ①非がん(ALS)独居：最期まで家で過ごしたいを支える

岩崎法人社務千葉クリニック 仙台北訪問看護ステーション 訪問看護認定看護師 中島 正美

#### ②肺がん：不安だらけの妻を支えて在宅看取りへの「挑戦」

一般社団法人 公済会 訪問看護ステーション やまぐち 訪問看護認定看護師 坂田千佳子

#### ③多臓器がん：余命を越えて、妻と愛猫と過ごした最期の時間

一般社団法人 北宮センター びつ総合病院 地域連携型 訪問看護認定看護師 二本柳 典

### 《座談会(グループワーク)》

- ・グループに分かれて、ざっくばらんに東北地区の仲間達  
で、訪問看護や在宅看取りについて語り合きましょう。



- お申込み：下記URLまたは各記のQRコードより、11月12日(金)までに申込み下さい。  
一先ずつの申込みをお願いします。

<https://forms.gle/hnwWJju1B71FCpsv6>

- お問合せ：[ynews452@nifon@gmail.com](mailto:ynews452@nifon@gmail.com)

- お申し込み：東北ブロック理事 戸崎 幸信様、数日以内に回答いたします。

- プロジェクトメンバー：及川 中恵(宮城)、大塚 福富、長川 平洋(岩手)、二本柳(青森)
- ZoomのIDとパスワードは、11月20日(土)まで、お申込の欄にご記入いただいたアドレスに送信します。  
看取がない場合は、お手数ですが、お問合せのアドレスにご連絡下さい。

- 研修費用は、当日までに謝金させていただきます。

- ご参加費は、パソコンやタブレット、インターネットの環境が必要です。



本事業は、令和五年  
の事業計画に基づき  
行われます。

#### この研修会について

本開催は、主催、共催が在宅看取りに関する研修を所望し、訪問看護師に在宅看取りに関心を持ってもらうため、「在宅看取りにおける専門職を支援したい」という共通の思いから実現しました。

その思いを支援を受け、訪問看護認定看護師協議会が在宅看取りをテーマとする訪問看護師の育成事業として、各地域で訪問看護認定看護師を公開した研修です。

同様の研修の方が希望している「最期まで家で過ごしたい」を叶え、自宅で最期を過ごしたい希望を持っている、患者さん・家族に対して、「安心な安全な生活」を支援、実践できる訪問看護師を育成することを目的としています。